

山桜会総会では「絆と笑顔がつくる夢への第一歩」が共有されました



会長 平泉 憲一

6月26日開催の山桜会総会では、「絆と笑顔がつくる夢への第一歩」をテーマに、多くの皆さまに山桜会の将来ビジョンについてお話しができました。

まず、卒業生の集まりである山桜会の役割として、①卒業生が戻ってくる「受け皿」としての役割、②同窓生との「再会・出会いの場」としての役割、③これら出会いを活かして「発展のための場」としての役割、④卒業生が、母校や山桜会に、さらには社会・国家に「還元のための場」としての役割を挙げました。

そして、山桜会は、これら役割を果たすために、すべての卒業生・在校生が、いつでも楽しく語り合え、共に高め合い・助け合い、また、すべての在校生は、将来のことについて卒業生に相談できることを目標に活動していきます。そして、卒業生は学院を、学院は卒業生を、共に尊重支援し発展いける未来を実現していくことが、皆さんで共有されました。

この実現には、多くの卒業生の皆さまに、山桜会活動の楽しさを知っていただき、そして追手門の卒業生であることを誇りに思い相互に尊重しあうことが

不可欠です。これからも一緒に笑顔で実現していきましょう。



追手門学院

茨木・大手前の両中高 近年にない進学実績を達成



理事長 川原 俊明

1年もあっという間に過ぎてしまい、早くも師走を迎えます。

2月に始まったウクライナ紛争は、21世紀の平和ぼけを一気に吹き飛ばしてしまいました。教育現場も安穏とはできず、少子化の時代を迎え、教育の質保証を行うとともに、未来を信じ絶えず改革を進めていく必要があります。

平泉会長を始め山桜会のみなさまには、母校の運営に多大なご貢献とご理解をいただき、誠に感謝申し上げます。

「探究」教育の下に、生徒児童が自ら課題設定を行い、自ら答えを見出す自発的教育が効果を発揮し、茨木・大手前の両中高とも近年にない進学実績を達成することができました。大手前中高では、ロボット・プログラミング教育も充実し、今年も

世界大会に出場することが決まりました。

小学校では、世界で活躍する人材育成を目指して「国際教育センター」が設立されました。小学校の国際教育は、さらに拡大・充実しシリコンバレーや国連本部、NASAなど、本物の世界に触れることで真の国際人を育てます。

引き続き山桜会のみなさまの更なるご支援を、どうぞよろしくお願い致します。



「国際教育センター設立記念講演会」パネルディスカッション



「国際教育センター設立記念講演会」理事長挨拶